



神の統治の基礎



竜は女に対して激しく怒り、
その子孫の残りの者たち、
すなわち、神の掟を守り、
イエスの証しを守り
とおしている者たちと
戦おうとして出て行った。
(黙示録 12:17, 新共同訳)



龍は、女に対して怒りを発し、
女の残りの子ら、すなわち、
神の戒めを守り、イエスの
あかしを持っている者たち
に対して、戦いをいどむ
ために、出て行った。
(黙示録 12:17, 口語訳)



私たちを取り巻く世界を観察すれば、神が世界を支配する法則を創造されたことがわかる。例えば、生き物が成長し、発達する方法を決定する法則がある。地球が太陽の周りを定速で回転している間、私たちが投げ出されないようにする法則もある。

神はまた、私たちがどのように行動すべきかを示し、この世の住人も天使を含む他の世界の住人もそれによって支配される掟を創造された。

神はこの法則を、宇宙に存在するすべての知的生命体に植え付けられた（ロマ2:15）。しかし、罪は私たちの中で律法を歪めてしまった。そのため、神ご自身が声と文字で私たちに律法を伝えなければならなかった（申記4:13）。



律法:



天の聖所における律法



永遠の律法



安息日:



安息日の意味



安息日と終末のとき



律法と安息日と礼拝

律法



天の聖所における律法

そして、天にある神の神殿が開かれて、その神殿の中にある契約の箱が見え、(黙示録 11:19上旬)



ヨハネは天の聖所が開かれ、その中に契約の箱が「見えた」のを見た(黙11:19)。それまで天の聖所の箱は隠されていたのだろうか？この幻は何を表していたのだろうか？

この幻を理解するためには、地上の聖域とそこで祝われていた儀式を見なければならない。

契約の箱は一年中「隠された」ままであり、贖罪の日だけに「見る」ことができた(レビ16:2、12-13)。その日に裁きが行われ、罪は決定的に取り除かれた(レビ16:30)。

ヨハネに与えられた幻は、11章の幻の直後(つまり、聖書が19世紀初頭に大々的に広まった頃)に、天における審判が始まったことを示している。

地上の聖所と同じように、契約の箱には10の戒めが収められており、それによって私たちは裁かれる。また、神の憐れみの象徴である慈しみの座も入っており、イエスの血が私たちの罪を覆っている(1ペト1:18-19、1ヨハ2:2、詩85:10)。



(日)

なぜ、安息日の掟が十戒に
含まれていると思いますか？

永遠の律法

「わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っ
てはならない。廃止するためではなく、完成するためである。
(マタイ 5:17)

今では、イエスが十字架上で十戒を廃止したという話をよく耳にするが、それは改革者たちの教えではないし、聖書が教えていることでもない。

十字架によって、地上の聖所に関する律法や儀式が効力を失ったのは事実だが、道徳律はそうではなかった(エフェ2:15)。



神の御性質

「正しい裁きは御座の基」
(詩89:15上句)

「慈しみとまことは御前に進みます。」
(詩89:15下句)

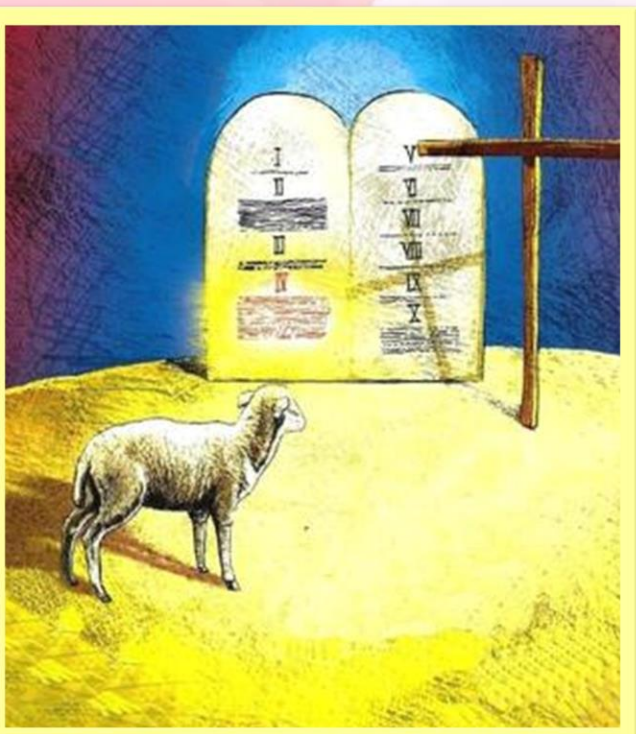
律法

“あなたの戒めはすべて義です”
(詩119:172下句)

“あなたの律法はまことです”
(詩119:142下句)

神の掟は永遠であり、時を超越し、完全であり、神によって創造されたすべての知的生命の行動を支配している、
(詩19:7; 119:142; ロマ7:7, 12, 16, 22, 25; 1ヨハ3:4)

現実には、律法は神の性格そのものを反映したものであるため、永遠である。



(月)

なぜ、私達の教会の創始者たちは、
セブンスデー アドベンチストと、
名付けたとおもいますか？

安息日



安息日の意味

安息日を心に留め、これを聖別せよ。(出 20:8)

神が私たちが創造されたから（出20:8-11）、神が私たちが贖われたから（申5:12-15）。

私たちにとって安息日は、創造主を賛美し、創造主の贖いの愛を黙想し、新しい創造において創造主とともに生きるという約束を思い出すための、一週間の一時停止なのである。このように理解すれば、安息日は私たちにとって神からの特別な祝福なのである。



その一方で、神は私たちがあまりにも愛しておられたので、私たちが神から離れてしまったとき、神は私たちを見捨てられなかったということを思い出させてくれる。それは、業ではなく休息の象徴であり、律法主義ではなく恵みの象徴であり、非難ではなく安心の象徴であり、私たちが救ってくださるのは神であり、私たち自身の努力に頼るのではないということの象徴である。

安息日を守ることで、私たちは神への忠誠を示し、神だけを礼拝したいという願いを表明する。

(火)

あなたが感じている安息日の
最も大きな祝福はなんですか？

安息日と終末のとき

第二の獣は、獣の像に息を吹き込むことを許されて、獣の像がものを言うことさえできるようにし、獣の像を拝もうとしない者があれば、皆殺しにさせた。(黙示録 13:15)

黙示録13章には、サタンが神から世を惑わすために用いるさまざまな力が書かれている。この章のすべては礼拝に関連している(黙13:4、8、12、15)。

言及されている力の一つは、ダニエル書7章の小角に直接関連しており、この小角は時代と律法を変えようとしている(黙13:5; ダニ 7:25、42か月の期間は、時間、回数、ハーフタイムと同じである)。



この権力は、第二の戒律(像の崇拜)を無効にし、第四の戒律(礼拝の時間)を変形させ、土曜日の神聖さを日曜日に移した。

最後の瞬間には、売買[安息日に禁止されている行為]を禁止することによって、「像」を礼拝させられる(黙13:14-17)。この「獣の印」は、神が定めた土曜日の代わりに、人間が定めた日曜日を礼拝の日として受け入れる人々について語る象徴である。



(水)

なぜ、サタン悪魔は、
第七日安息日を変えることに
特に力を注ぐのでしょうか？

律法、安息日と礼拝



大声で言った。「神を畏れ、その栄光をたたえなさい。神の裁きの時が来たからである。天と地、海と水の源を創造した方を礼拝しなさい。」(黙 14:7)



終わりの時に宣べ伝えられる三つのメッセージは、礼拝と安息日と神の律法と結びついている。

一番目の
メッセージ

黙示録 14:6-7

律法を基準とする) 裁きに備え、(安息日を思い起こさせるように) 創造主を礼拝する。

二番目の
メッセージ

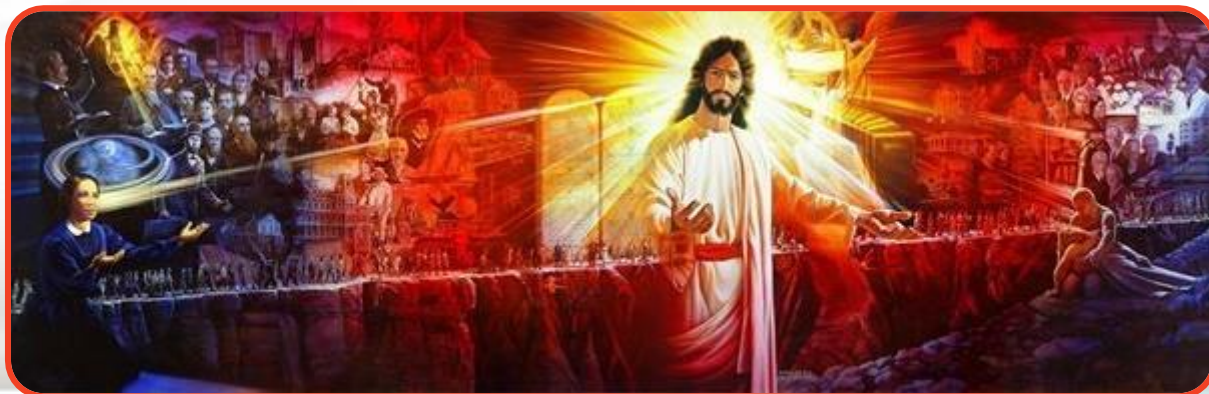
黙示録 14:8

神に偽りの礼拝を捧げる宗教体制から離れよ

三番目の
メッセージ

黙示録 14:9-11

誰をどのように崇拝するかを決める：
安息日を守る神か、敵の刻印を受け入れる敵か。



終わりの時に堅く立つ者には、二つの特徴が与えられている：「神の戒めとイエスの信仰を守る」(黙14:12)。

そのような重要な時に戒めを守るためには、彼らはイエスの信仰を受け入れる必要がある。

(木)

安息日が善と悪の大争鬪の
中心となるとしたら、

あなたが今日できる備えはなんでしょう？

「安息日がすべての人に守られ、人間の思いと愛情が、崇敬と礼拝の対象としての創造主に向けられていたならば、偶像礼拝者や無神論者や不信心者は決してでてこなかったことであろう。安息日を守ることは、「天と地と海と水の源とを造られた」真の神に対する忠誠のしるしである。それゆえに、神を礼拝し神の戒めを守ることを命じるメッセージは、特に第4条の戒めを守るよう人々に呼びかけるのである。」